

2018年7月6日 西日本豪雨災害 取引先被災！

2019.10.19
新田 弘志

自然災害・工場内事故による稼働停止リスク

自然災害・工場内事故で稼働停止への事前準備事項

① サプライヤーの対策啓発

火災事故、自然災害の危険度の高いサプライヤーは、日頃から安全や災害対策に関する啓発活動や想定訓練を行う

② 生産分散

寡占サプライヤーに対して、生産拠点の複数化を依頼して、リスクを分散する

③ セカンドソースの確保

供給源の複数化を図ってリスク軽減・分散をする。
リスク管理面から複数調達の基本である。

④ 戦略的備蓄

安全在庫として不測の事態が生じた時のリカバー期間分を在庫として持つ

自然災害・工場内事故で稼働停止発生時の対処

① センター機能の設置

② 被害状況確認

報道などを参考し、連絡をとる手段を選ぶ
メール → FAX → 電話

③ 関係部門召集

④ 訪 問

タイミングを考える。支援・物資など

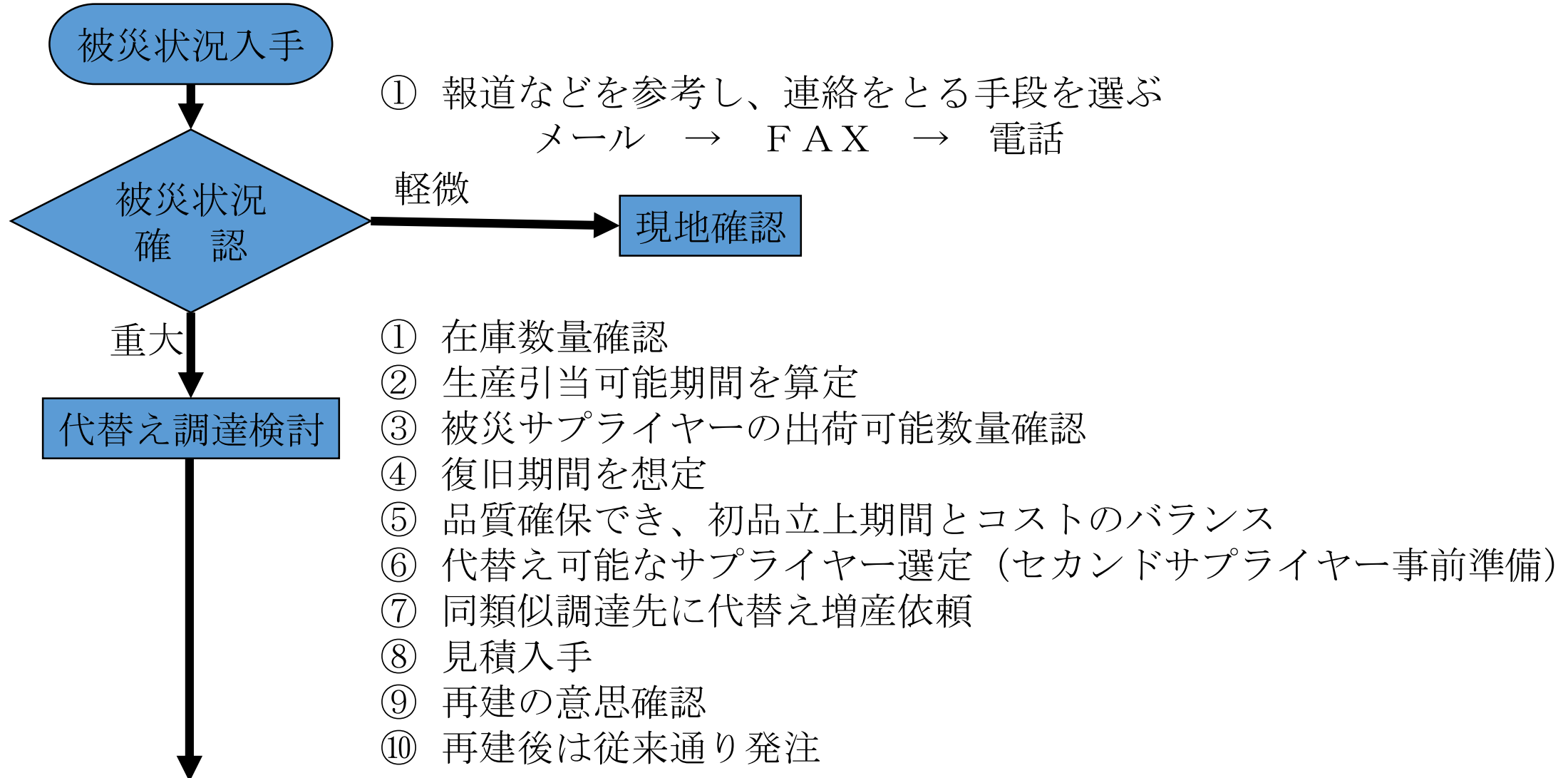
⑤ 対策行動

BCP: 事業継続計画 (Business Continuity Plan)

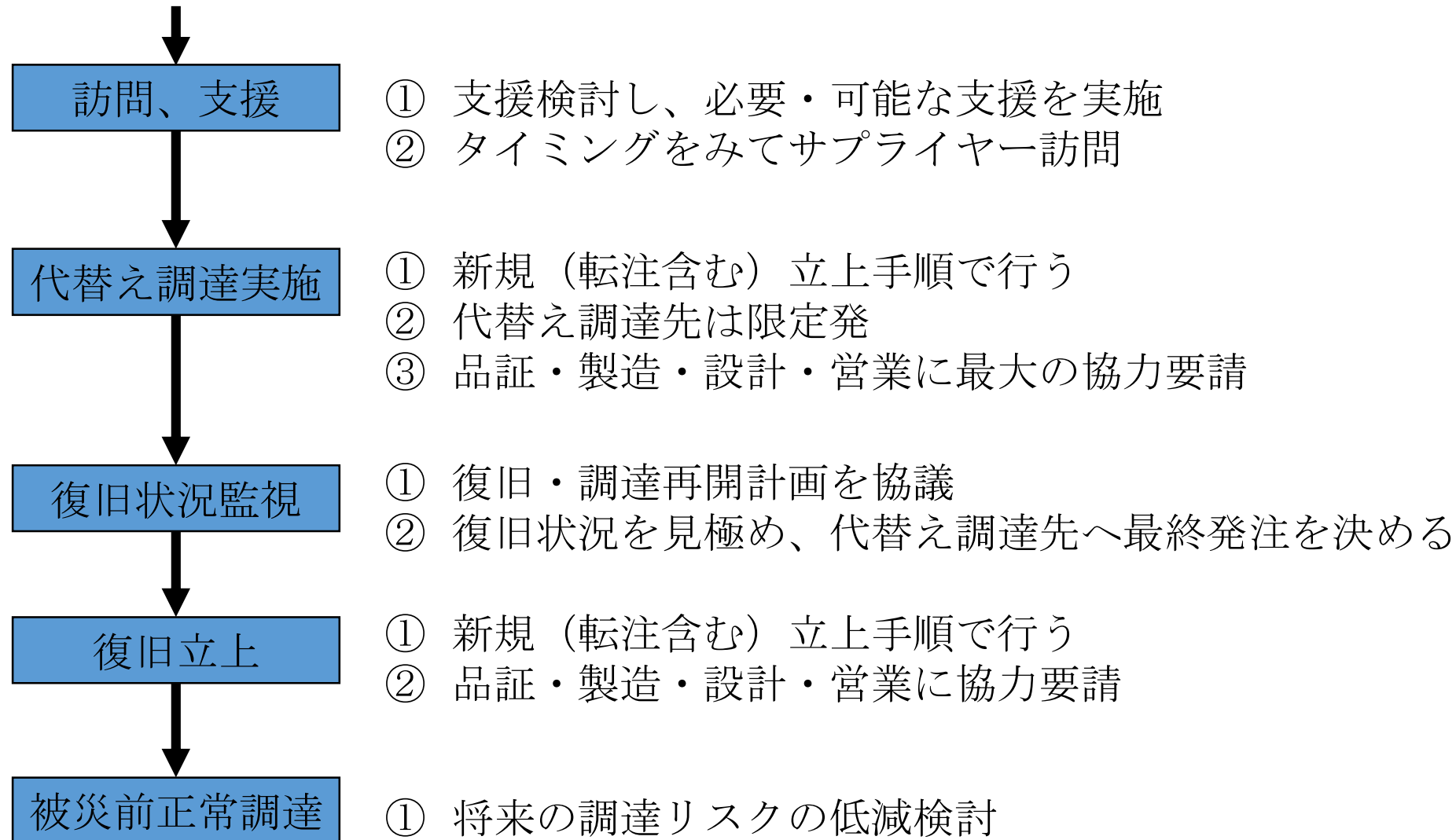
企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限に食い止め、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画

- ① 優先して継続・復旧すべき中核事業を特定する
- ② 緊急時における中核事業の復旧目標時間を定めておく
- ③ 緊急時に提供できるサービスのレベルについて顧客と予め協議しておく
- ④ 事業拠点や生産設備、仕入品調達等の代替策を用意しておく
- ⑤ 従業員と事業継続について日頃からコミュニケーションを図っておく

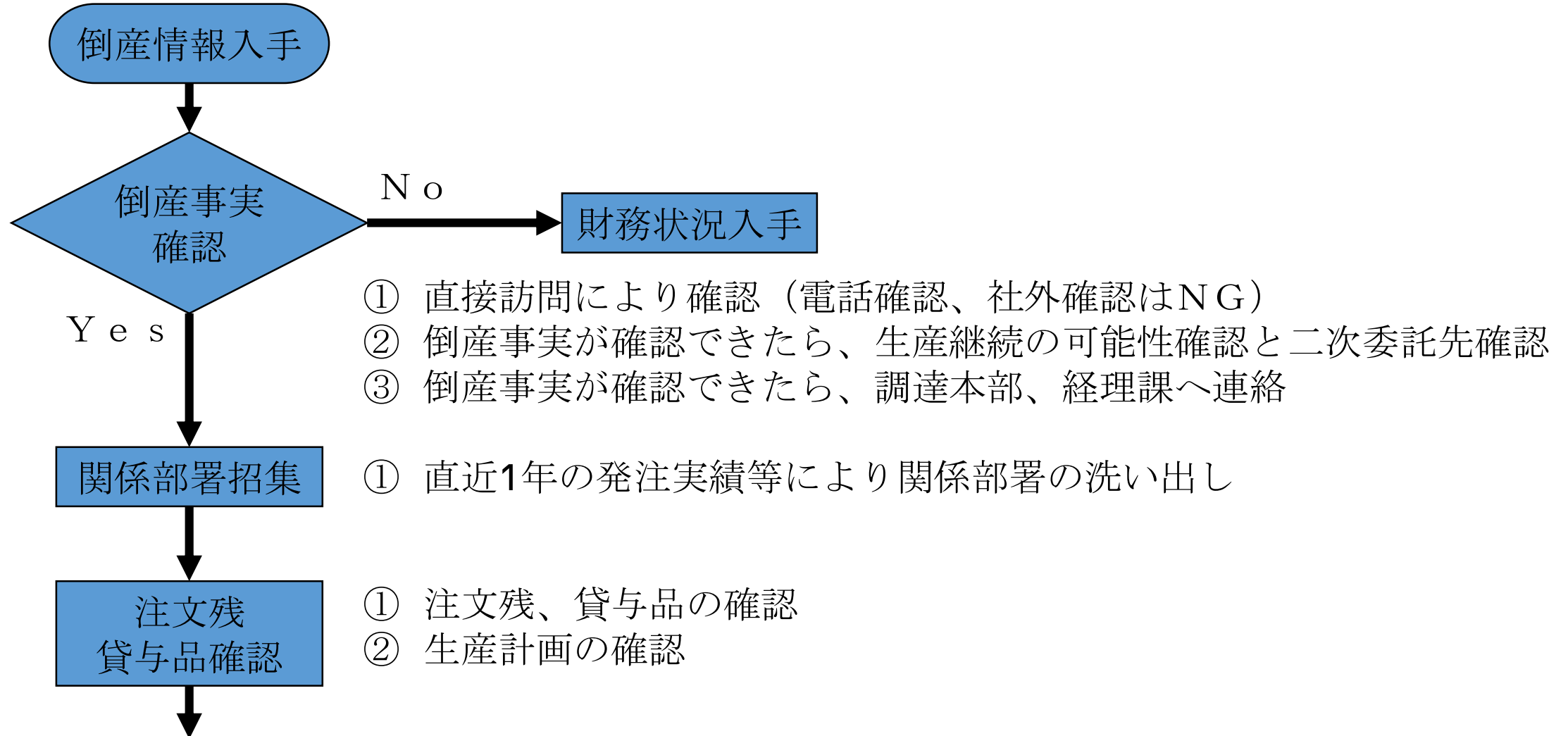
サプライヤーが被災した！



サプライヤーが被災した！



サプライヤー倒産対応マニュアル



サプライヤー倒産対応マニュアル

